

共同運営部門：内視鏡センター

—スタッフ—

役 職	スタッフ名
センター長兼消化器内科部長	高谷 宏樹
消化器内科医長	山原 邦浩
消化器内科主任部長（肝臓）	大西 亨
消化器内科副医長	中野 智景
非常勤医師	月曜 午前1名, 午後1名

—概要—

2021年度はCOVID-19の影響が持続した。感染予防を徹底して内視鏡検査、処置を行った。4月から山原医師が常勤医として赴任し通常の検査、処置にある程度の余裕ができた。主に常勤の内視鏡医3人で検査・処置を行い、月曜日のみ非常勤の内視鏡医を加えた。

山原医師の赴任と専任内視鏡室看護師で、休日夜間も対応可能な日程を増やすことができた。

9月末に新内視鏡センターがオープンし、検査室が2部屋から3部屋に増床され、また、リカバリーベッドを増やし鎮静下での内視鏡検査処置に対応できる数も増えた。

内視鏡学会指導医・専門医2名、専門医1名が当院に常勤として在籍しており日本消化器内視鏡学会認定指導施設となっている。

当院で研鑽を積むことで日本消化器内視鏡学会認定専門医の取得が可能である。

—実績—

内視鏡件数

上部内視鏡検査	2,920件
止血術	40件
ステント留置	5件
上部EUS	35件
ESD	25件
ERCP関連処置	150件
胆膵EUS	297件
下部内視鏡検査	1,720件
コールドポリペクトミー	250件
止血術	35件
粘膜切除術	395件
大腸ESD	19件
ステント留置	10件

—今年度の成果と反省点・来年度への抱負—

COVID-19の中、感染対策を徹底しつつ前半は内視鏡検査・処置を行いつつ改築工事を行って、その後9月末にグランドオープンとなった。何とか前年度を上回る検査・処置数を維持できた。月曜日以外は常勤のスタッフのみで内視鏡センターの運営が行えた。

消化器内科の医師もやや高齢化してきており、今後の診療を担う若手の医師の採用が望まれる。

2017年度から内視鏡センターを整えてきた。検査数、処置数、診断レベルも向上してきた。今後もさらなる向上を目指しつつ、地域の消化器内科、消化器内視鏡医療に貢献していきたい。